

2012（平成24）年4-6月期GDP速報（1次速報値）

～ ポイント解説 ～

平成24年8月13日
内閣府経済社会総合研究所
国民経済計算部

[1] GDP成長率

2012（平成24）年4-6月期のGDP成長率（季節調整済前期比）は、1次速報値において、実質0.3%（年率1.4%）、名目▲0.1%（年率▲0.6%）となった¹。

[2] GDPの内外需別の寄与度

内外需別の実質GDP成長率に対する寄与度を見ると、内需が0.4%、外需が▲0.1%となっており、民間企業設備や民間最終消費支出、公的固定資本形成などの国内需要の増加によって経済成長がもたらされている。

[3] 需要項目別の動向（季節調整済前期比）

（1）民間需要の動向

民間最終消費支出は前期比実質0.1%の増加となった。消費形態別には、耐久財とサービスに対する支出が増加した一方、半耐久財と非耐久財に対する支出は減少に転じた。耐久財については家庭用器具等、サービスについては鉄道・航空旅客輸送やレクリエーション及びスポーツサービス等に対する支出が増加に寄与したとみられる。他方、半耐久財においては衣服等、非耐久財においては燃料費や電気代等への支出が減少に寄与したとみられる。

民間住宅及び民間企業設備については、それぞれ実質0.8%増、1.5%増と前期の減少から増加に転じた。建設、建設用クレーン等の特殊産業機械、受注ソフトウェア、電子・通信機器等に対する設備投資が増加に寄与したとみられる。

民間在庫品増加のGDP寄与度は実質▲0.0%となった。製品在庫と流通在庫がともに減少に寄与している。なお、原材料在庫と仕掛品在庫については、1次速報段階では基礎統計の不足により統計的な補外推計を行っている。

¹ 2012（平成24）年1-3月期のGDP成長率（季節調整済前期比）は、実質1.3%（年率5.5%）、名目1.4%（年率5.7%）に上方改定。

(2) 公的需要の動向

政府最終消費支出は前期比実質 0.3%の増加となった。医療費、介護費等の現物社会給付が継続的に増加している。

公的固定資本形成については、前期比実質 1.7%増と 2 四半期連続の増加となった。公共工事請負金額の動きをみると東北地方における増加が顕著であり、復興需要が公的固定資本形成を押し上げているとみられる。

公的在庫品増加の GDP 寄与度は、実質 0.0%と横ばい圏内の動きとなった。

(3) 輸出入の動向

財貨・サービスの輸出入については、輸出が前期比実質 1.2%増、輸入が同 1.6%増と輸出入ともに増加した。輸出については船舶や自動車などの輸出増、輸入については金属鉱物や原油・天然ガスなどの輸入増が寄与しているとみられる。

なお、輸入の増加が輸出の増加を上回ったことから、純輸出（輸出－輸入）の実質 GDP 寄与度は▲0.1%のマイナス寄与となった。

[4] デフレーターの動向

GDP デフレーターは、季節調整済前期比▲0.5%の下落となった。民間最終消費支出デフレーターや政府最終消費支出デフレーターが前期比で下落に転じたことなどが寄与した。

前年同期比についても▲1.1%の下落となった。ただし、前期の▲1.3%に比べると下落幅は縮小している。控除項目である輸入デフレーターが前年比で下落に転じたことなどがマイナス幅の縮小に寄与している。

(以上)